



はじめに

prepayシステムを使うと.....



採用がうまくいく

前払いという強いメリットをアピールして他社と差をつけられる。

月払からの導入で応募数が**3.7倍**に！



長く働いてくれる

離職リスクの一番高い入社1ヶ月目、稼働してすぐに給与がもらえる事により定着率の向上にも役立ちます。

入社初月の退職率**25%**が退職率**11%**に！

さらに労務コストの軽減のお声も頂いております

各エリアでの求人数に対し既に**25%**の求人が「日払い」「前払い」のキーワードにHit  
採用トレンドに乗りおけない為にも、**前払制度の導入は不可欠**です！  
是非当社の給料前払システム【prepay】をご検討ください。

1

勤怠報告

3

どう使うの

5

給料前払い用資金は

2

どんな時

4

どう控除すれば

6

コストイメージ

Q : 給料前払サービスってめんどくさくないの??

A : いいえ、上記1番の勤怠報告スキームを構築さえすれば後はアイデアにおまかせできます。

# 1 勤怠報告

導入クライアント様にお手間は取らせません

## 勤怠管理ソフト導入企業様



ソフトからCSV出力



prepayに送付

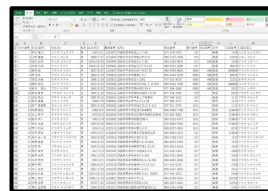
Q : 勤怠管理ソフトなんて入れてないんだけど

A : Excelで簡単なシフト表のフォーマットをご提供させていただきますので活用していただけます。

## Excelで勤怠管理されている企業様

Q : 自社でExcel管理しているのだけど・・・

A : prepayサービスと連携しやすいように加工をお手伝いさせていただきます。

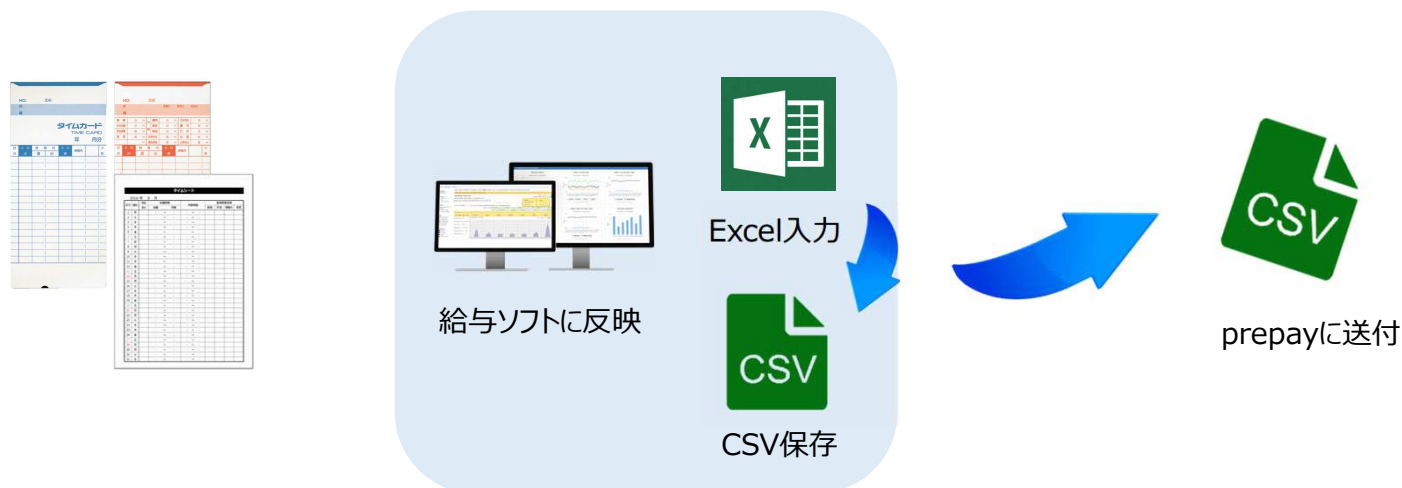


データ加工し取込み

ExcelファイルをCSV形式で保存

# 1 勤怠報告

月毎のタイムカード等を給与ソフトで管理されている企業様



勤怠データ自動連携オプション

## 業務が一切追加されない 業界初の新サービス

勤怠データと従業員マスタをprepayシステムに自動で抽出できるサービスを開始いたします。  
これによって毎日のアップロードの手間が一切なくなります。

※ 詳しくは当社システム担当にお問合せください

## 2 どんな時

私達のテーマ：アイデアが提案する「働き方改革」  
それは働くすべての人が笑顔になれること。



お昼休みに



休日に



お仕事前に



### 3 どう使うの

専用アプリで簡単申請！



**私達のこだわり**：年代性別に問わず全ての人が直感的に使えるユーザーインターフェースにこだわって作りました。



希望額を入力して申請完了！

電話での申請は平日9:00～19:00



電話サポート



スマートフォンが無い方も電話1本で申請



### 3 どう使うの （新サービス）

従来の銀行振り込みと併せて より便利に！！

毎日が給料日がついに実現！

申請したタイミングから**即時**前払給料をチャージできる！！



配布されたチャージ式クレジットカードを  
利用者が初回登録するだけでご利用できます。

もちろん、チャージした前払給料は**スグ**にご利用可能！  
チャージ手数料は既存の銀行振込手数料のレベルを実現！

※7月中旬リリース・サービススタート



総務・人事・経理ワールド（HR EXPO）に出展決定

東京会場：7月11日～13日（東京ビックサイト）

大阪会場：11月7日～9日（インテックス大阪）

名古屋会場：2019年2月13日～15日（ポートメッセなごや）

prepayは  
貴社の採用の救世主となります！



## 4 どう前払を控除すればいいの？

Q：いつデータもらえるの？

A：1ヶ月の締日翌日に一括でお渡ししております。  
導入前に取込スキームを作成していれば2～3分で作業完了！

### 勤怠管理ソフト導入企業様



### Excelで勤怠管理されている企業様



### 月毎に給与ソフトで管理されている企業様



## 4 どう前払を控除すればいいの？

### 給与明細記載例


スタッフ様のお給料明細に1項目、もしくは振込手数料を分けて2項目を作成するだけ

支給	基本給	深夜手当	残業手当	非課税通勤費		
	236,075	0	7,125	13,920		
控除	健康保険料	厚生年金保険料	雇用保険料	所得税	仮払金精算	prepayシステム料金
	13,088	25,126	1,028	4,810	30,000	2,100
差引支給額	合計					
	222,987					

アイデアHDより毎月お送りする  
控除データを取込・反映

### 給与業務上の変更点

控除科目の追加のみ（前払い利用額精算、システム利用料金徴収）

支払総額に変化はないため、 の利用有無は、税額、社会保険、雇用保険の計算には影響しません。

※ 上記給与控除にあたって、事前に会社、労働者代表者間での24協定締結が必要となります。

## 5 給料前払い用資金は

クライアント様にとって重要な部分！ですね

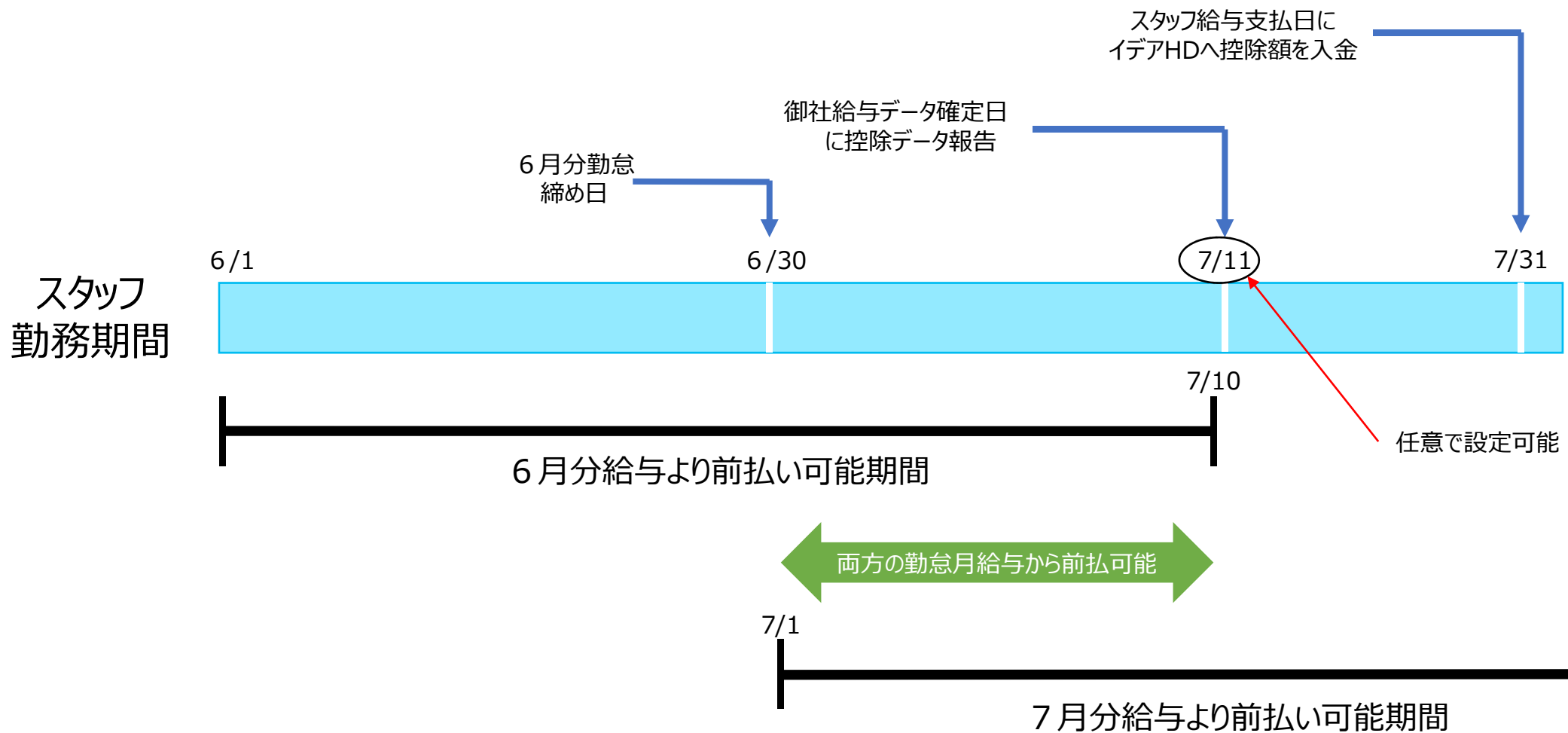
YESマンではございませんが、NOと言わない多彩なプランでクライアント様に運用方法をご提案

- 1 給料前払い資金をお預かりし運用させていただくプラン
- 2 企業様の銀行口座から振込させていただくプラン
- 3 給料前払い資金をprepayで立替させていただくプラン etc



※ 詳しくは営業担当にお問合わせ下さい

## 5 給料前払い資金は (月次前払い資金フロー例 末日締め翌末日払い例)



## 6 prepayコストイメージ

★ 導入費用 **20万円** → **0円**

★ 前払い資金



御社でご用意

2つのプランをご用意

- ・銀行振込時 **540円**  
(スピードEXPRES +150円)
- ・イデアカードチャージ **540円**  
(スピードEXPRES 無料)

月額利用料  
無料

- ・銀行振込時 **540円**  
(スピードEXPRES +150円)
- ・イデアカードチャージ **195円**  
(スピードEXPRES 無料)

月額利用料  
一律5,000円/月額

- ・銀行振込時 **540円**  
(スピードEXPRES +150円)
- ・イデアカードチャージ **540円**  
(スピードEXPRES 無料)

月額利用料  
5,000円～30,000円  
※ 登録人数・前払利用金額に  
より変動いたします

☐ スタッフ様負担

☐ 御社負担



IDEA提携金融機関で立替

※ 企業審査有り

## 前払金控除する為の労使協定のお願い

### 労働法 第二十四条 ※抜粋

賃金は、通貨で、直接労働者に、**その全額を支払わなければならない。**  
ただし、法令若しくは労働協約に別段の定めがある場合又は厚生労働省令で定める賃金について確実な支払の方法で厚生労働省令で定めるものによる場合においては、通貨以外のもので支払い、また、法令に別段の定めがある場合又は当該事業場の労働者の過半数で組織する労働組合があるときはその労働組合、労働者の過半数で組織する労働組合がないときは労働者の過半数を代表する者との**書面による協定がある場合においては、賃金の一部を控除して支払うことができる。**

### 賃金一部控除に関する労使協定書

株式会社〇〇〇〇と社員代表〇〇〇〇は、労働基準法第24条1項に基づき、賃金控除に関し、次のとおり協定する。

第1条 会社は、法令に定められたもののほか、次の各号に定めるものを、毎月〇〇日支払いの賃金（給与・賞与）から控除するものとする。

- (1) 社宅家賃
- (2) 団体扱いの生命保険・損害保険の保険料
- (3) 物品購入費、食費
- (4) 貸与ユニフォーム返却時クリーニング代
- (5) 給与前払金及び前払金システム利用手数料
- (6) その他会社と社員代表と協議し決定したもの

第2条 会社は、社員が退職または死亡した場合において、前条に掲げるもののうち、未払金があるときは退職金から控除できるものとする。

第3条 本協定の有効期間は平成〇〇年 4月 1日から平成〇〇年 3月31日までの1年とする。ただし、この協定の有効期間満了の1ヶ月前までに、会社または社員のいずれからも異議の申し出がないときは、この協定はさらに1年間有効期間を延長するものとし、以降も同様とする。

平成 年 月 日

株式会社	〇〇〇〇	
代表取締役	〇〇〇〇	印
社員代表	〇〇〇〇	印

従業員様から前払金・システム手数料を給与から控除する際、上記の法に基づき右記のような協定を結んでいただく必要がございます。